

ごみ炭化燃料化システム



2022

Kawasaki
Ecological Frontiers
S class

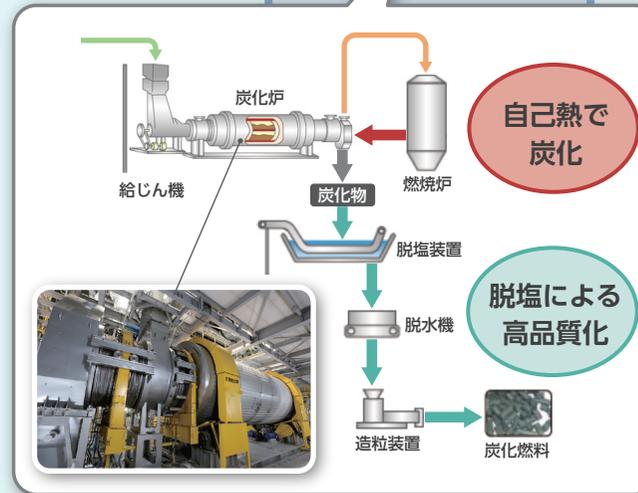
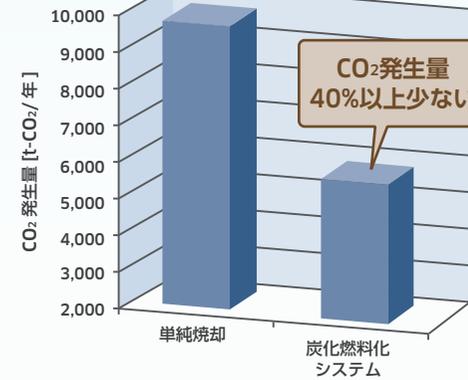
2019年：初回登録

川崎重工業株式会社

一般廃棄物を炭化燃料化し、 発電用化石燃料の代替利用を実現

一般廃棄物の炭化燃料化により、未利用エネルギーの回収を実現。炭化燃料化におけるCO₂発生量は、一般廃棄物の単純焼却に比べて40%以上少ない。金属腐食防止のため、高性能な脱塩工程を経ることにより、国内で初めて発電燃料としての利用可能な炭化燃料化を実現。

ごみ処理量
50ton/dayのケース



製品紹介

一般廃棄物・污泥などから発電施設で利用できる炭化燃料を製造するシステム

特長

- ごみ炭化時に発生する熱分解ガスの利用による補助燃料の低減
- 炭化炉の四分円構造化（単筒を仕切りで四分割に区切る）による装置のコンパクト化

